インタビュー　外務省・海外邦人緊急事態課長に聞く

邦人の中東退避をめぐる対応と教訓

今年３月に段階的に実施された、史上最大規模の中東からの邦人退避支援オペレーションの詳細について聞いた。



外務省　領事局　海外邦人緊急事態課長
木戸 大介ロベルトさん

（きど・だいすけろべると）
2004年外務省入省。日米安全保障条約課、宮内庁（侍従）、経済連携課、在フランス日本大使館参事官、外交政策調整官を経て、2025年８月から現職。

（聞き手：日外協　広報部長　佐藤 真樹）

最大規模の邦人退避

―― 今回の中東邦人退避について教えてください。

今年３月の中東情勢の緊迫化に伴う邦人退避では、商用便の欠航や空港閉鎖などの緊急事態に備え、日本政府（外務省・防衛省）や現地大使館の支援による民間バスや政府手配バス等での周辺国への移動（陸路退避）と、その後の政府

（図表１）



（出所：外務省領事局作成、2026年３月17日）

（図表２）陸路退避の集計表

	出発国	出発地		到着国	到着地	退避の実施日	人数
①	イスラエル	テルアビブ	→	ヨルダン	アンマン	3/1、3/11	39人
②	イラン	テヘラン	→	アゼルバイジャン	バクー	3/3、3/7、3/20	17人
③	周辺国	クウェート	→	サウジアラビア	リヤド	3/7	84人
		バーレーン	→			3/8	9人
		カタール	→			3/8、3/9、3/12	318人
	アラブ首長国連邦（UAE）	アブダビ	→	オマーン	マスカット	3/7、3/11	121人
		アブダビ	→	UAE	ドバイ	3/10	45人
バス輸送：計37台				邦人等、バス輸送人数　総合計			633人